



文化博物館だより 第326号

2010年4月17日

みなさん、こんにちは。今月はじめの天気の良い日には、お花見に行かれる方々の姿を明石駅前で見ました。ここ数日のお天気は、曇りが多くて、咲くのは傘の花ばかり……。春うららかとはまいりませんが、ピカソの版画(春季特別展、5月9日(日)まで)をご覧にお立ち寄りください。

● 春季特別展『ピカソ展』、開催中です！

4月10日(土)午前9時、一般観覧に先立ち、開会式と内覧会を行いました。関係者だけでなく、明石市内在住の親子3組も招待し、開会式では、こども達は白い手袋とピカピカのはさみを手にテープカットに臨みました。



開会式のテープカットの様子

ピカソといえば、キュビズムを思い浮かべる方が多いと思いますが、版画作品にもキュビズムの作風が見られるものがあります。本展チラシの《女の顔》は、そんな作品のひとつでしょう。

また、11日(日)には、本展の監修者である中村隆夫氏(多摩美術大学教授、美術評論家)のギャラリートークと講演会がありました。



ギャラリートーク(作品《女の顔》の前で)

ピカソは生涯で2人の女性と結婚しましたが、それ以外にも多くの恋をし、刺激を受けて、彼女達を作品の中に登場させています。才能にあふれていただけでなく、複雑な感情を持ち、死や愛に怖れを抱いていたピカソの生涯と芸術を知る機会となりました。「若い方もいるから夢を壊してはいけないんだけど…」と仰いながら、ピカソの恋のエピソードについて話される中村先生のお話は明快でユニーク。時には、笑いの起こる場面もありました。

● 開館時間が、午後 6 時 30 分までに

この4月1日より、開館時間を延長しています。午後 5 時 30 分 → 午後 6 時 30 分となりました。入館は、これまで通り閉館の 30 分前までをお願いいたします。

また、今年度より特別展会期中の金・土曜日は、午後 7 時 30 分までご覧いただけますので、これまでよりゆっくりと展覧会をお楽しみください。なお、特別展会期中は、ひきつづき無休での開館となります。



● さおり織でティーマット作り(5月)

5月21日(金)午前10時～正午 費用：200円(別途観覧料) 定員：8名(織機2台)

おひとり約30分ずつの体験です。好きな横糸を選んで、ティーマットサイズの作品を作ります。なお、作品の引き渡しには時間をいただく場合がございますので、お急ぎの場合は郵送でも対応できます(別途送料)。

● 今年度、前半の展覧会スケジュール



企画展 天地をひらく—豊饒の女神の世界— 松本雄治彫刻展 5月15日(土)～6月13日(日)

現代彫刻家・松本雄治(神奈川県在住)はブロンズ彫刻による像を多く手がけています。明石に実家があり、関西にも多くの作品が設置されています。松本さんが大学時代を過ごしたゆかりの地・明石で、豊饒の女神をテーマとする作品の数々を展示します。

[毎週月曜日休館]

企画展 月照寺の至宝 —江戸時代の柿本人麿信仰— 6月19日(土)～7月7日(水)

月照寺は空海が創建したと言われ、明石築城の折に現在の地に移されました。江戸時代には歌道が栄え、人麿信仰が高まり、人丸社に神位・神号が下されました。寺には天皇や上皇が奉納した短籙や、明石藩主や文人らが寄進した和歌や書画が伝わり、一部は国や市の指定文化財になっています。本年3月に新たに市の指定を受けた文化財をはじめ、月照寺所蔵の重要な文化財約30点を公開します。

[毎週月曜日休館]

夏休み特別企画展 小梅の初恋から40年 叙情の世界 林 静一展 7月17日(土)～8月29日(日)

画家・イラストレーターとして活躍する林静一は、大手食品メーカーの商業「キャンディの小梅ちゃん」の生みの親として有名です。絵本の原画をはじめ、日本画、木版画、デジタル作品など代表作約200点を展示し、叙情あふれる美人画の世界を紹介します。

[会期中無休]

* 展覧会名・会期などは変更する場合がありますのでご了承ください。

春季特別展『20世紀絵画の巨匠 ピカソ 円熟期の版画展』(5月9日(日)まで)にご来場いただきましたでしょうか。会期中は月曜も開館していますよ。さて、申し遅れましたが、数日前にお別れしたはずの私、むっちー再登場です。あらためまして、どうぞよろしくお祈いします！